

寺崎組新聞

第四百十六号

エンジンがかからないバイクだらけ・呪いの？南会津組会

204回組会報告

九月十六日(土)晴れ 一日目
集合場所の福島県南会津町七ヶ岳登山口駅に十一時過ぎに到着。すでに半蔵氏(CRF)が到着しており、見知らぬ年配の男性と会話をしている。組長の軽トラはあったが姿が見えず。早速、野宿地の偵察に出かけているという。朝食を取りながらさつきの見知らぬオジサンと会話をしていると地下鉄氏がトランポで登場。中には黄色いスーパークラブが載せられている。タイヤはオフ使用に変えられていた。数分後、TLMに乗った組長が帰還。



地下から出てきたバイク。

十二時を過ぎた頃、DIEBELでオガタ氏到着。十分後エストレーヤで柴田氏到着。二十分後、三瓶氏が到着。早速、朝食の大盛り焼きそばを着。出発時間が迫る頃、田島方面からの電車が来る。もしかして以前あったようにF佐藤氏が下りてくるかもと淡い期待をしたが、地元のおばあさんが一人降りてきただけだった。まだ来ていないゴ三浦氏は現在ヨロップ出張中で、明日十五時パのどこに出張中か、誰も分から

開始。今回は取り敢えずこの七名で塾一及び四百号線を南進「七ヶ岳林道」に入る。走りやすいフラットな道に固められた路面や堰堤があり災害があつた事がわかる。伐採された付近では遠くまで見渡せ景色が良い。徐々に砂利が深くなりハンドルがフワフワになる。6.5km走ると「林道開通記念碑」あり時間調整タイム。先の雨で出来た大きな水溜まりを突っ切ったり避けたりして通過する。9.3km走り終え国道二百八十九号線を右折し東進するが、後続が来ない。後ろからオガタ氏が走って来て組長に状況を伝える。Uターンして林道出口へ戻る。トラブルは柴田氏のバイクの電装系だった。林道出口で一旦停まったところ、電気が落ちてしまい、キーを回しても電気が点かなくなつた。みんなで柴田氏のバイクを取り囲み、荷物・サイドカバー・シートを外し配線・バッテリーなどをチェックするが電気が点かない。「昔のテレビみたく叩けば直るんじゃないの。」の一言で叩いてみると電気が点灯する。何度もキーをオンオフしても点灯する事を確認。原因はわからないが直つたという事で元通りに組み直す。約三十分のトラブルタイムを経てリスタート。



バイクの電装系を点検中。

本日野宿地、林業の作業で整地された場所、地面はフラット。細い樹木が良く間隔で立っており、自然の雨避けになっている。テントを張るにもちょうど良いスペースとなっている。組長も何らかの設備を準備している。十六時四十分、開宴。柴田氏、日頃の鬱憤が溜まっていたのか、仕事・家庭・生い立ちなど、マシンガントークが止まらない。方言の話になり「うるかす」が標準語と知って地下鉄氏ビックリ(後日調べたら「うるかす」は北海道・東北地方の方言だそうです。地下鉄氏は間違っていました)。地味に暗くなってきたのでライトを点灯すると、デカイ蛾たちが襲来。ランタンやヘッドライトにパニック状態。突進。鱗粉をまき散らされた組員もパニック。暫くして今度はカメムシ襲来。匂いを出さないように十九時過ぎ組長はテントへ。三瓶氏のミュージックタイムが始まる。三瓶氏の音楽で盛り上がるが、ユニコーンが流れると花の?52年組(三瓶氏・半蔵氏・柴田氏)が盛り上がり、夜中まで続いたそう。

国道二百八十九号線を黄金色の稲を横目に東進。いつものヨロップベニマル田島店へ十五時に到着。各自食料・酒の買い出しをして、十五時四十分今夜の野宿地に向け出発。国道二百八十九号線を左折し「久戸沢林道」に入る。ダートと舗装を繰り返して行く。間伐された林の中を駆け抜ける。5.1km走った左側の広場奥の雑木林に十六時過ぎに到着。本日走行距離45.1km。



林道を進む中、日陰が涼しい。28日にまた集まりは...

九月十七日(日)晴れ 二日目
六時前にテントの外に出ると組長と地下鉄氏が朝食の準備をしている。食事の準備中、半蔵氏が起きてきて「頭痛い。気持ち悪い。」と完全な二日酔い。「朝飯は食べられない。」と項垂れている。薄朝霧が掛かる過越ししやすい気温の中、朝食を食べ終え撤退準備をする頃には風が出てくる。
八時過ぎ、ほぼ出発準備を終えた頃、オガタ氏のバイクのエンジンが掛からない。セルは勢いよく回っているのだが、プラグが点火していないようだ。焦るオガタ氏。タンクを外しプラグを外しセルを回す。プラグから断続的に火花が飛ぶのを確認。予備のプラグに替えても変わらず。お手上げ状態となり修復不可と判断して。組長の軽トラを持って来てバイクを積んで山梨まで帰るといふ計画になる。組長が軽トラを取りに行く前に集合写真を撮ることに。組長「みんな、しよげた感じで」と声をかけ、しよげたポーズで集合写真を撮り終えた組長は九時過ぎに軽トラを取り山を下りる。
自分が、まだ試していないキックスターターでの始動を提案する。ダメもとでやれることはやっておきたかった。外した部品を取り付けた後、キックスターターを試す。三回目であっけなくエンジンが掛かる。オガタ氏は「神の足だ。」と喜ぶ。その後、何回エンジンも切ってもセルでの始動が可能なる事を確認。取り敢えず今後のオガタ氏の行動を議論。エンジンが掛かり自走できるのであれば軽トラは不要で、原因が分からず再発の恐れがあるがトラブっても口でサーブिसで対処すれば良い。と



キャンプ場にはうつつらいいの雰囲気。バルのセルモーターが...

いう事で自走で帰京する結論に至る。十時過ぎ組長が戻る。オガタ氏をアクセルを煽りエンジンが掛かった事をアピール。「エッ」というような表情をする組長。荷台からバイクを降りながらこれまでの経緯・先程の計画を話す。軽トラをここに置くのでここに連泊予定となる。十時半出発。「久戸沢林道」を西進する。舗装とダートを繰り返す事9km走ると「古松峠林道」に出る。オガタ氏を見送った六名は右折し山を登り、少々荒れた林道から国道二百八十九号線に出る。赤穂原川沿いの道をグングン上がって「玉川林道」へ入る。「冷湖の温泉」で昼食用のひやっこい水を汲む。Uターンしてさっきの分岐に戻り「大窪林道」に入る。0.5km走ると左側に広場であり十一時半、昼食タイム。十二時二十分リスタート。と思つたら、自分のバイクエンジンが掛からない。柴田氏・オガタ氏のトラブルが伝染したのかと不安になるが、二分半、キックし続けエンジンが掛かる。両側のスキがお辞儀をしてリアアットの嵐。十三時過ぎ「大窪林道」終点に到着するが、後続が来ない。暫くして半蔵氏到着。どうやら柴田氏のバイクが再発したらしい。電装系トラブルが再発したらしい。あの悪路を戻って助けに行くのを躊躇している。地下鉄氏到着。暫くして柴田氏到着。昨日同様叩いたら復活したらしい。ただ今後も再発するかもしれないと考え帰京の決断をする。

柴田氏に別れを告げ五名は「木賊平林道」に入る。原入峠を越え国道四百一十号線に出る。西進する。4.1km進み国道四百号線に出ると折し南下する。途中で組長のバイクがガス欠。トライアル車なので燃料タンク容量が小さい。それを見越して予備ガソリンを一リッター持つてきていた。国道二百八十九号線のバイパスに入りオンロード田島バイパスに十五時前に到着。駐輪場に怪しいバイクが一台停まっている。本日は合流のゴ三浦氏のバイクと思われ、本人がいない。買い物を済ませ戻ってきてゴ三浦氏の姿が見当たらない。半蔵氏より「カフエコーナで寛いでいて、まだ買い出しもしない」と報告あり。パッキンがないと買出しを済ませたゴ三浦氏登場。
十五時半前六名で出発し国道二百八十九号線のバイパスをから「古松峠林道」と「富貴沢林道」の分岐に至る。直進し「古松峠林道」を上る。

ように洗掘されていて岩がゴロゴロ。橋の上で地下鉄氏を待つ間一休み。地下鉄氏が無事上がった。確認しリスタート。朝オガタ氏と別れた分岐に到着。右折し今朝来た「久戸沢林道」を進み、組長の軽トラが見え十六時十分野宿地に到着。本日走行距離97.6km。
各自ほぼ同じ場所にテントを張る。昨日自分の使っていた場所はゴ三浦氏に占拠される。が、カメムシが大量発生する場所だったので譲る。十六時四十分宴会開始。本日もラジオにノイズが走り雷鳴も轟く。なんとか入った電波でスマホの雨雲レーダー画面で確認すると昼間走った昭和村付近に強烈な雨雲が確認される。こっちは来ないよう祈る。暗くなってきたのでライト点灯。今宵も蛾の登場。本日はパニックを防ぐ為、離れたところに半蔵氏のライトを置く。予想通り蛾達は群がった。組長が米で作った焼酎「ねっか」を取り出す。旅番組で六角精児が飲んでいたそう。今時栓抜きが必要で「栓抜き持っている人居る？」と組長。ゴ三浦氏が今ではあまり使われず購入し開けてびっくりした後、組員にお裾分け。味はすっきり爽やかで飲みやすい。突然半蔵氏が「何あれ?」と叫ぶ。暗闇の中、動く光がある。目を凝らして見ると三瓶氏のヘッドライトだった。スマホの着信を確認し受信状況が良い場所に行つていたらいい。オガタ氏は随分時間掛かって帰宅したらしい。柴田氏からの報告は無かつたらしい。宴もたけなわ、組長・ゴ三浦氏が共同購入したビッグサイズの肉と地下鉄氏の宴も夜中まで続いたらしい。今宵九月十八日(月)曇り 最終日
鹿の声もなく雨も降らず、風も無く静かな夜だった。半蔵氏、今日は二日酔いがなく調子は良いらしい。組長が昨日の朝、三瓶氏とオガタ氏からスマホに送られた文章が文字化けして変な文章になっていた事を明かし読み上げて笑いを誘う。朝食を済ませ撤収準備。七時五十分、出発準備が整った人から二泊お世話になった野宿地を後にした。



バイクの走行中。

記 三倉

Beta再来! 山梨長野 県境組会

203回組会報告

そろそろ梅雨明けするんじゃないかと思う暑い7月、集合場所の山梨県北斗市の塩川ダムへカワサキ、スーパーシエルパで向かう。自分が所有しているTT250R(4GY)が欲しいという知人からの下取りで手に入れたバイク。10年近く放置されていたが、近所を試し乗りしただけで林道はまだ1kmも走っていないのだった……

集合場所へ到着。組長(なんちゃってTLM風)、地下鉄さん(WR)、ゴ三浦さん(なんちゃってDR)、アベさん(KLX125)、オガタさん(シエル)、半蔵さん(CRF)、初めてお会いしたクロネコさん(ベータ)、自分の計8人。

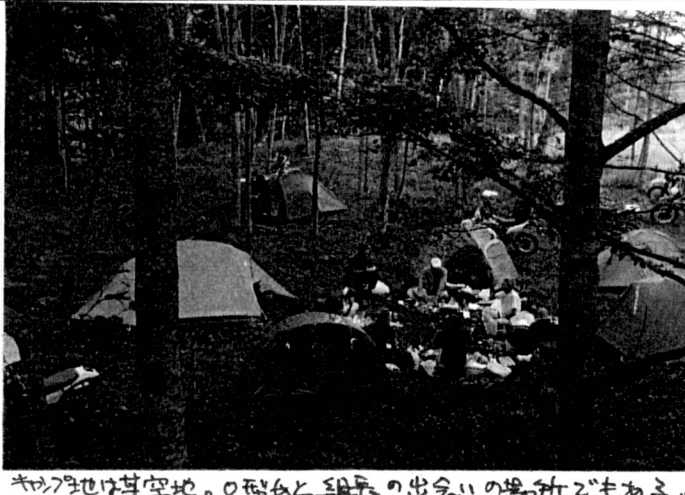


ベータのバイクに乗って林道を走る組員。山梨県北斗市塩川ダム付近の林道で撮影。

13時出発! 信州峠方面から横尾山林道へ。今回はシエルパで初林道なごらう。さあ林道だ! と思ったらいきなり赤い水筒が組長のバイクから転がり落ちる! 予備の燃料ボトルが壊れた! 走り直して出発! 前半は締まった走りやすいダートで後半は多少石がゴロゴロの林道。組長、トラ車のはずなのにいつものトレール車と何も変わらない走り。バックステップでつま先乗るために、ブーツに引っかけ用のミゾを掘って来たそう。そうそう、組長を筆頭に今回の参加者のタイヤの山が無い人多さよ! 組長いわく、『タイヤは付いていけばいい』マジっすか! から長い付き合いになろうスーパ

シエルパのファーストインプレッション。一言、「普通」でした。気を抜くとフロントが流れるのはホンダに慣れた自分の乗り方の問題か? 後ろからパワーが湧いて迫り来るクロネコさんの暴力的な排気音にビビり、思わず道をゆずるも直ぐに休憩。その後もうスーパーシエルパとの対話が続く。

いつもの川上村のナナーズで買出しして信州峠方面へ戻り、松平林道? 脇の広場が初日の野宿地となりました。いつものアベさんを見て安心し、組長がすってんころりんしたのでテントへ手を取り向う。『大丈夫!』と言うが、入り口が分からずテントの周りをグルグル回っている。全然大丈夫ではなさそうだったがスルスルとテントへ吸い込まれて行つた。アベさんも無事テントへ入り初日終了。



キャンプ地は草生地。のびた組員と組長の出会いの場所でもある。

朝。重低音の排気音が聞こえてくる。山田石油さんがアフリカツインで登場。昨夜頼まれたのだがグーグルマップの座標の送り方が分からず、現在地のスクショを送っただけだったが無事合流。一日目が始まり、数本の林道で早速洗車が! ちよつとぬかるんだわだちを足をとられ、右フロントウインカーを破損してしまふ。重量級だからこすのが大変! 結局下りきったものの、ゲートに鍵があつてUターン。今度は登りで半蔵さんがハマる! 11時頃早めの昼食。クロネコさんは一度帰宅して夕方野宿地で合流したいらしいとのこと。場所のデータを送って欲しいと頼まれるが、自分のa usスマホでは電波が届かず結局今宵の野宿地からは無理であった。

走る走る! 組長、今度のバイクがよほど楽しいのだから! 走っている汗が噴き出る暑い中、ほほ林道のみで98kmは走っている。皆お腹いっぱい。小海の業務スーパーで買ったアブも夕暮れとともに消え、ひぐらしの音が心地良かった。綺麗な夕焼けを見て、今日たつぷりと林道を走ってTT250Rを手放したことだが高揚感が無い。テンションが上がらなかつた。TTはもうない。さあどうしたものか……トホホ。

帰り道は山田石油さんと麦草峠でお別れ。皆さんお疲れ様でした。※後日談。帰りの麦草峠で決心する! ヤフオクに今組長が出品しているME06を買うしかない! 今でしょ! というわけで早期終了してもらい、山梨の道の駅で待ち合わせ、金も無いのに5日後には手に入れてしまったのでした。今、若干車高を下げて立ち気味のスタンドを短く加工中。さあ今週中に登録だ! (※注スーパシエルパは乗りやすく非常に良いバイクです。)

記 ロッカー

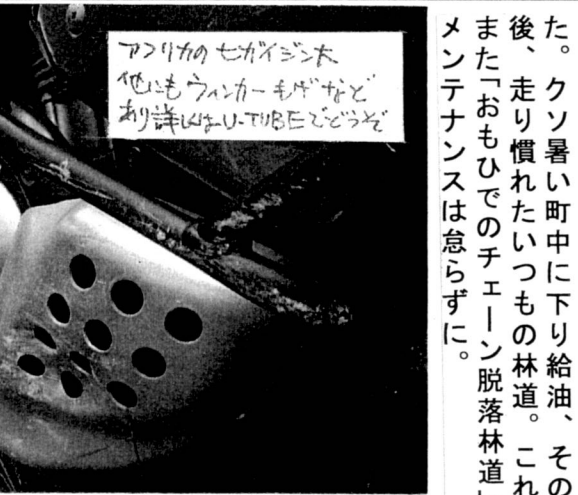
7月15日 梅雨も明けたかどうかわからない天候の中、大分通い慣れた「塩川ダム」が今回の集合地だ。いつもの集合広場は盛り土がうず高く積まれているが、組員が集まるには十分な空き地が残っていた。今回のメンバーはTLM125? 組長、久しぶりの塾参加ベータ250? クロネコさん、DR250? ゴ三浦さん、シエル250尾形さん、KLX125アベ、シエルパロッカーさん、CRF250あつみちゃん、WR250地下鉄の8名だ。いつものように出発時間まで昼飯を食ったり、バイクを観察したりして時間をつぶし、さあ出発となる。本日の目的地(買出し)はこれまた通い慣れた「ナナーズ」のこの辺りでは唯一まっとうな買い物ができるお店だ。直接行くには近すぎるので、適当に近所の林道を走行する。TLMが先頭ではベータの性能は逆にストレスでしかないだろう。そもそも目的の半分は時間つぶしなのでのんびり行きましよう。そうこうするうちにレタス畑の道へ出る。土埃がひどいのも道を通り「ナナーズ」に着く。それなりに繁盛している店でソリン問題が覚、一人クロネコさんは給油に行くのであった。何でもジム二ー並みの燃費でバイクのタンク

ク、航続距離は百キロ前後だそう。準備ができたところで今夜の野宿へ。今夜の野宿は「おもひでの信州峠」尾形さんが組に入る前のこと。ひとり野宿している時、暗い中を車の音が迫ってきた。ビビっていると髭面の親父が下りてきて「俺の土地に勝手に野宿しやがって」と言われたとか言われなかったか。林道を走りつつ野宿地へと向かうが、林道の入口へ行くが獣除けゲートで行けず。通常だと鍵など掛かっているのだからあえなく引き返し野宿地へ向かい午後4時前に到着。



20時頃に山田石油アフリカツインで合流。

翌朝、さわやかな高原の朝を迎える。各自朝食を済まし撤収、今日は朝から山田石油さんが参加。野宿地は伝達済みだが浜松から来るので少し待機。時間があるので組長はベータを試乗する。ぶん回さない面白くないそうで、軽さは良いけど色々なようなのんびりツーリングには不向きかも。山田石油さんがアフリカツインで到着したので出発。今度はあつみちゃんのパイクがガス欠の危機。取り合えず給油のため町へ向かうことにするが、そこは組長、林道を使って移動となるがそこに置が。やや荒れた林道を下るとなんと前日入り損ねたゲートに到着。がっちり鍵のかかったゲート。この下りで反対側でUターン、この下りで調子に乗ってしまった山田石油さんはコケてソリンを割ってしまった。同じ道をとって辛い林道となりまし



アベさんのバイクのエンジン部分。折れ(悲) 地下鉄

た。クソ暑い町中に下り給油、その後、走り慣れたいつもの林道。これもまた「おもひでのチェーン脱落林道」メンテナンスは怠らさず。

田島組会 一人一言

- バイクの調子が悪くて、1泊で帰宅しました。残念でした。(オガタ)
- カブのタイヤをオフ仕様に変更、少しはましになったかな?(地下鉄)
- XR200は、軽くてコンパクトでなかなか速い。だんだん乗りこなせてきた感じです。(三浦)
- 南会津は私の寺崎組原点と言っても過言ではありません。ああ、七ヶ岳林道。フカフカの砂利でも走れるようになったよ! ここで折れたクラッチレバーはまだ使ってるよ。(半蔵)
- 久々の七ヶ岳林道は、天気にも恵まれ転げずに楽しめました! ありがとうございます! (サンペイ)

塩川ダム組会 一人一言

- サイドスタンドの付け根が折れて散々でした。(アベ)
- 次回からは軽いバイクで伺います(汗)。(山田石油)
- 野宿地が、2日間とも最高でした。楽しかったですよ! (オガタ)
- なんちゃってDR、コーナリングでリアをパワードリフトさせちゃった! (ゴ三浦)
- 天気も良く走って走っていた記憶しかない。後半暑さでぼーっとしながら走ってた記憶しか。(半蔵)

編集後記
地下鉄さん、山田石油さん、アベさん、あつみちゃん、クロネコさん、オガタさん、半蔵さん、サンペイさん、ご参加ありがとうございました。また、お読みいただきありがとうございます。寺崎組新聞、これからもよろしくお願いいたします。